

## 下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和4年度 下野市第5回図書館協議会  
日 時 令和5年3月15日(水) 9時30分から11時20分まで  
会 場 下野市役所 2階 203会議室  
出席者 青木委員長、鈴木副委員長、大垣委員、松本委員、星野委員、下山委員、  
高木委員、黒川委員、伊澤委員  
欠席者 高橋委員  
市側出席者 (事務局) 浅香課長、伊澤館長補佐、近藤主幹  
(指定管理) 和田総括管理運営責任者兼石橋図書館管理運営責任者、  
小畑国分寺図書館管理運営責任者、佐藤南河内図書館管理運営責任者

公開・非公開の別 ( 公開 ) ・ 一部公開 ・ 非公開 )

傍聴者 0 人

報道機関 0 人

議事録(概要) 作成年月日 令和5年3月23日

### 議 題

- (1) 令和4年度実績報告について
- (2) 令和4年度図書館の外部評価について
- (3) 令和5年度事業計画について

#### 【協議事項等】

1 開会<近藤主幹>

2 あいさつ

<青木委員長> おはようございます。皆様お忙しいところありがとうございます。今日は4年度の実績報告と外部評価、5年度の事業計画について話し合いをしたいと思うのでよろしくお願いします。

3 議 題

- (1) 令和4年度実績報告について

#### 【質疑等】

青木委員長 事務局及び各館から説明をお願いします。

事務局 令和4年度実績報告について「令和4年度事業実績報告」により説明。

石橋図書館 令和4年度実績報告について「令和4年度事業実績報告」により説明。

国分寺図書館 令和4年度実績報告について「令和4年度事業実績報告」により説明。

南河内図書館 令和4年度実績報告について「令和4年度事業実績報告」により説明。

青木委員長 令和4年度実績報告について質問があれば挙手願う。無ければ(2)に移る。

- (2) 令和4年度図書館の外部評価について

#### 【質疑等】

青木委員長 事務局から説明をお願いします。

事務局 評価シートは全員ご提出いただいた。ありがとうございました。評価シートを

まとめたものを令和5年度第1回協議会で示し、それを基に作成した図書館評価（案）について第2回協議会で協議していただく予定である。

（3）令和5年度事業計画について

【質疑等】

- 青木委員長 事務局及び各館から説明をお願いします。
- 事務局 令和5年度事業計画について「令和5年度事業計画」により説明。
- 石橋図書館 令和5年度事業計画について「令和5年度事業計画」により説明。
- 国分寺図書館 令和5年度事業計画について「令和5年度事業計画」により説明。
- 南河内図書館 令和5年度事業計画について「令和5年度事業計画」により説明。
- 青木委員長 令和5年度事業計画について質問や希望等があれば挙手願う。
- 松本委員 行政と指定管理者が工夫と努力をした結果うまく定着してきていると感じるので、良い企画は継続して欲しい。国分寺図書館の「ダンボールクラフト」や「科学教室」等は専門家の指導で実際に物を作る経験ができる。本を読んで知識を吸収することも重要だが、このような経験から科学の楽しさを知ればこれからの科学教育にも貢献するのではないか。3館合同の「調べる学習支援講座」のように、疑問が生じた時に自分でどう調べて解決していくかという手ほどきを図書館の場で行うことは非常に意味がある活動だと思う。南河内図書館では帝京大学情報電子学科の蓮田裕一教授を講師に「かぴばらロボットと仲良くなるろう」を行った。専門家に講師になっていただきその道の入り口にピントを当ててもらうのは重要だと思う。以上のようなことを評価しているので引き続き頑張っていたきたい。
- 高木委員 大人は図書館できちんと調べられているかという疑問がある。「図書館＝貸し本屋」と思っている人も多く、そういう場ではないということで、そもそも図書館とはという“調べる”を含めた一般向けの講座も検討していただきたい。
- 石橋図書館 調べる講座については「ひゃっか王からの挑戦状」というポプラディアの図鑑を使った講座を開催しており、子どもだけでなく親子で体験できる。
- 高木委員 確かに小学生くらいまでの子どもがいる人は親子で参加している。しかし子どもが絡まずに図書館の講座に参加する大人は高齢者。子どもと切り離して一般の人を対象とした講座も考えていただきたい。
- 青木委員長 子どもたちが興味を持ったことを図書館の本を利用して自分で調べられるようになるのが一番いいと思うのだが。
- 事務局 夏休みには3館のスタッフが「夏休みの宿題応援します」というバッジを付け、子どもたちが気軽に声をかけられるようにした。本や調べ方を紹介してもらう体験から「図書館に行けば何か見つかる」ということを学んでいくので、気軽に聞ける雰囲気づくりが大切なので、講座に限らず常に小さなことから対応しレファレンスにも力を入れて行きたい。
- 高木委員 図書館では難しいかもしれないが、今の子どもはネットをよく利用するので、メディアリテラシー的なものを可能であれば学校との連携で検討をお願いしたい。

青木委員長 他に事業計画について意見はあるか。  
大垣委員 国分寺図書館のティーンズ読書クラブについて。例えば感想を言う時の進行役は図書館のスタッフなのか、子どもたちだけで行うのか。また感想を言い合うだけで終わるのか。  
国分寺図書館 図書館スタッフは参加するがあくまでもサポートに徹し、子どもたちの自主性に任せて行うのが基本。数年前までは感想を言い合うだけだった。中学生になると部活や勉強でなかなか参加できなくなる先輩たちを見て、部員を増やし後輩を育てようという気持ちになっているので、今年度は外部に向けた活動が増えた。図書館は、相談を受けてポスターの掲示やツイッターでの発信等でサポートしている。  
大垣委員 自分たちで考える形に繋がっているということで、続けていただきたい。  
下山委員 ティーンズ読書クラブは図書館からの指導では無く子どもたちが自主的にできたように記憶している。6名から7名に増えたりきっと熱心に色々考えてやっているのだろうと感心している。  
青木委員長 読み聞かせボランティア養成講座は1回講座か。  
国分寺図書館 今年度は2回講座だった。  
青木委員長 承知した。他に無ければここで閉じる。

#### 4 その他

近藤主幹 その他について事務局から説明する。  
事務局 図書館のホームページがリニューアルしたので簡単に説明する。  
「下野市立図書館ホームページ紹介資料」により説明。  
松本委員 「ほんナビきっず」は子どもが自主的に使うことによってブックトークを受けられるような機能にもなるのか。  
事務局 「ほんナビきっず」はどちらかというと低学年や乳幼児向けの絵本なので、高学年向けのブックトークには向かないと思う。開発した(財)大阪国際児童文学館と筑波大学の研究によって選ばれた絵本が載っている。  
松本委員 子ども向け機能とあるので中学1～2年生くらいまで含むイメージだったので表示の仕方を考えてみて欲しい。  
黒川委員 ここに紹介されていても下野市に所蔵がない本もあるかもしれないのか。  
事務局 ほとんど所蔵していると思う。  
近藤主幹 第2回天平の桜歌会についてパンフレットをもとに説明。  
第1回は昨年3月。コロナ禍ということもあり屋外で分散型で実施した。従来型はステージがあって見に来てもらうものだが、桜歌会は公園内全てをステージとし分散させる形で実施。今年は野点など体験できる部門もあるので、ぜひご来場いただきたい。

#### 5 閉会

近藤主幹 以上で第5回図書館協議会を終了する。